

市民公開講座

「闘わないがん治療：粒子線治療」

5月17日（土曜日）に鹿児島市の宝山ホールにおいて市民公開講座を開催いたしました。

昨年に引き続いての開催となり、約1000名の皆様にお集まりいただき、熱心に講演をご聴講いただきました。

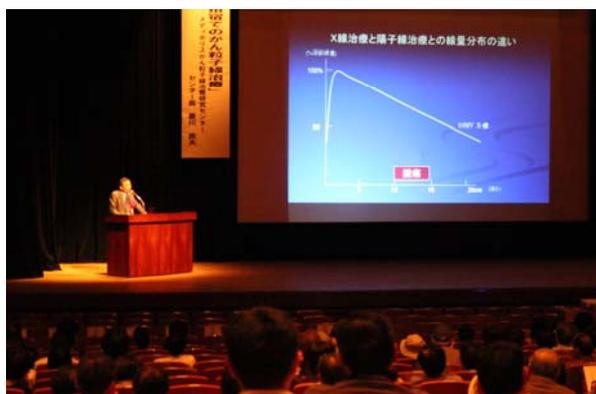
また、会場内に設置した粒子線治療に関する事務手続きの相談ブースには、約50名の方が相談に来られました。



永田理事長によるご挨拶

第1部：「がん治療における粒子線治療の役割」

演者：兵庫県立粒子線医療センター 院長 不破 信和 先生



第1部では、世界で唯一、陽子線と炭素線の両方の装置を持つ兵庫県立粒子線医療センターの院長である、不破 信和先生より、陽子線と炭素線の違いという観点も含めて、ご講演をいただきました。

第2部：「指宿でのがん粒子線治療」

演者：メディポリスがん粒子線治療研究センター センター長 菱川 良夫



第2部では、兵庫県立粒子線医療センターの名誉院長でもある、メディポリスがん粒子線治療研究センター 菱川 良夫センター長より、指宿で行われている粒子線治療について、講演を行いました。



講演会会場風景



講演後の質疑

講演終了後には、回収したアンケートに記載していただいた質問より、お二人の演者への質疑のコーナーも設けました。

ご来場の皆様、当財団の市民公開講座にお越しいただき誠にありがとうございました。

今後も市民公開講座を開催予定です。
講演予定が決まりましたら、ご案内いたしますので、
ぜひお立ち寄りください。